

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	生活衛生事業				事業コード	2247
担当課等	所属名	市保健所 生活衛生課			担当係名	
	課長名	佐藤 圭	担当者名	長谷川 学	電話番号	6631

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	健やかに暮らせる健康づくりの推進	コード 1
	基本事業	生活衛生対策の推進	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 04款03項01目 生活衛生指導事業(006-02)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 平成20年度～)					
事務事業の概要	理容師法、美容師法、クリーニング業法、興行場法、旅館業法及び公衆浴場法に基づく施設の衛生環境が良好に保たれるように監視指導を行うとともに、営業許可に伴う書類審査及び施設検査等を行う。また、温泉法に基づく温泉の適正利用に係る許可や建築物衛生法に基づく室内環境の確保等について監視指導を行う。さらに、飲用井戸の適切な維持管理に対する指導や水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に係る認可、届出や維持管理に係る監視指導を行う。このほかに、家庭用品規制法に基づく試買試験を行う。					
根拠法令等	理容師法、美容師法、クリーニング業法、興行場法、旅館業法、公衆浴場法、温泉法、建築物衛生法、水道法、岩手県飲用井戸等衛生対策要領ほか					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡市が中核市に移行したことに伴い、平成20年度から盛岡市保健所が設置され、県から権限委譲があったことによる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
生活環境の向上に伴い、法令等に根拠のない対応(衛生害虫等の駆除やシックハウス対策など)に盛岡市としてどう取り組むか検討する必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	生活衛生関係事業者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 施設数	単位	施設
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 施設の許認可及び監視指導 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 施設の許認可及び監視指導	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 監視指導件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	施設の衛生水準を維持・向上させる	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 監視率 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	良好な衛生環境が保たれている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	立入検査の計画に対する実施率(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	施設数	施設	2833	2820	2820	2829	2829	2829	25 年度 2829
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	監視指導件数	件	373	513	880	388	881	881	25 年度 881
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	監視率	%	13	53.4	31.2	44.1	31.1	31.1	25 年度 31.1
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,184	912	1,165	1,058	1,058	1,058	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	449	58	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	735	854	1,165	1,058	1,058	1,058	*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	1,184	912	1,165	1,058	1,058	1,058	*****
延べ業務時間数		時間	10,000	10,000	10,000	10,000	9,000	9,000	*****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	40,000	40,000	40,000	40,000	36,000	36,000	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	41,184	40,912	41,165	41,058	37,058	37,058	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること</p> <p>本事業は、市民生活と密接な関係がある生活衛生施設の衛生確保を目的として法令等に基づき実施するものである。営業者へ当該施設の衛生基準等を遵守させ、市民の安全・安心を担保するためには保健所の環境衛生監視員による監視指導等の実施が必要であり、廃止することは難しい。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>環境衛生監視員は、常に必要かつ十分な最新の知識を有していなければ業務の遂行に支障をきたす。従って、当該職員の資質向上を図るため計画的、効率的に研修(技術研修、政策法務研修等)を受講する必要がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1) 一次評価者としての評価結果				(2) 全体総括(振り返り, 反省点)
	① 必要性 : ② 有効性 : ③ 効率性 : ④ 公平性 : :	<input checked="" type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり <input type="radio"/> 見直し余地あり <input type="radio"/> 見直し余地あり <input type="radio"/> 見直し余地あり		市民の生活衛生環境を確保するために、今後とも法令等と最新の科学的な根拠に基づく監視指導等を実施し、市民のニーズや期待に応える必要がある。 しかし、一方で行政改革の流れの中で、行政サービスの維持向上を図りながら、一層の業務の効率化を進める必要がある。
今後の方向性と改革改善案	(3) 今後の事務の方向性(改革改善案)				
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>業務内容は法律に基づくものであり改善の余地はないが、業務の効率化は職員の経験、熟練度にともない改善が期待される。</p> </div>				